

ウクライナ戦争時代に考える

「靖国神社」と「市ヶ谷記念館」

◆もつと学ばなければ、と参加しました

・ウクライナ以後、もつと学ばなければと参加しました。いつもお知らせ送っていたので、お知りがとうございます。今後はメールでお願いします。(富士見町 早川康子)

◆国際刑事裁判の大切さを知りました

・東京裁判は遠い昔のことだと思っていました。現在ウクライナ戦争の



調布「憲法ひろば」例会のご案内

第188回(3月)例会 参加費 300円
地方自治という希望

杉並区長選に学ぶ

お話し:内田 聖子さん
NPO法人アジア太平洋資料センター共同代表
日時:2023年3月18日(土)13:30~
場所:たづくり9階「研修室」

第189回(4月)例会 参加費 300円
安保3文書と日米同盟の今後に

どう向き合うか

お話し:猿田 佐世さん
新外交イニシアティブ(ND) 上級研究員
日時:2023年4月8日(土)13:30~
場所:たづくり1002 学習室

第190回(6月)例会 参加費 300円
戦争させない仕組みとしての

ASEAN

お話し:鈴木勝比古さん
ジャーナリスト
日時:2023年6月10日(土)10:00~
場所:たづくり8階「映像シアター」

さんの「私は靖国神社を廃止せよ」とは言わないし、思っていない。軍事博物館は必要」にも、なるほどと思わされました。(深大寺北 佐藤定夫)

◆東京裁判の意味は理解できたが...

・東京裁判はおかしいと思ってきたが、先例として意味のあるものであったことは理解できた。それでも石井四郎などのような人が訴追されなかったことなどがちゃんと検証されたい。ま肯定することは難しい。(世田谷区 匿名)

◆ちよつと違った視点が面白かった

・大変面白かったです。ちよつと違った視点からでしたが、またこのような視点からお願ひします。今年に関東大震災から百年。それについての講演会などお願ひします。(無記名)

◆初めて知ってアタマにきた

・私は初めて知りまし。東京裁判の時に岸信介をA級戦犯として処罰しておけば今の統一教会問題はないのですね。こういう人たちが今の日本の政治を動かしている

かと思うとアタマにきま。あんな悪いことをして正義ぶるなと思います。靖国神社、天皇を崇め奉る必要はないと思います。(多摩川 久保良信)

◆「新しい戦前」を許さないことを本気で考えたい

・コロナ禍で医療・社会保障の弱さを思い知ったところ、今度はウクライナ戦争やトルコの大地震だ。ものすごい犠牲者が人間のいのちと暮らしに襲いかかっているのに、犠牲者をどう支援・救済するかではなく、軍事費を増強してこれに備えるなどと政府が言う。北朝鮮のミサイルで国民をオドカして、安全保障情勢がかつてなく緊迫しているから、医療だ年金だ、教育だと言わずに軍事費の財源をひねり出そうと言うわけだ。幼年時代に「欲しがりません勝つまでは！」と納得させられていた日々がふと頭をよぎる。私の父は「撃ちてしまえ」と妻子を残して満州に征き34歳で英霊となった。母は私たちを育てるために再婚し、幸いにも良縁に恵まれて97歳まで生き抜いたのだが、母も義父も私の姉・弟も、お互いに愛と信頼を育てようとがんばりながら、同時にそれぞれ心に育つ闇にも苦しみ続けた。青年の夢も理想も一瞬に奪い、遺る者の人生に果てしなく重い闇を背負わせる。これが英霊を父に持つ私の「戦前であり戦後」だった(ちなみに再婚した妻と息子には軍人恩給も支給されない)。昨今の「新しい戦前」をめざす政権は、「古い戦前・戦後」の残酷さを理解しない軽薄な権力と言わざるを得ない。春日さん、長谷川さんのお話を聞きながらこんなことを考えていた。「古い戦前・戦後」の実相を世間に深く知らせようと奮闘を続けておられる両氏に、心からの感謝と期待を申し上げつつ、「新しい戦前」を許さないことを本気で考えていきたい。(多摩川 鈴木彰)